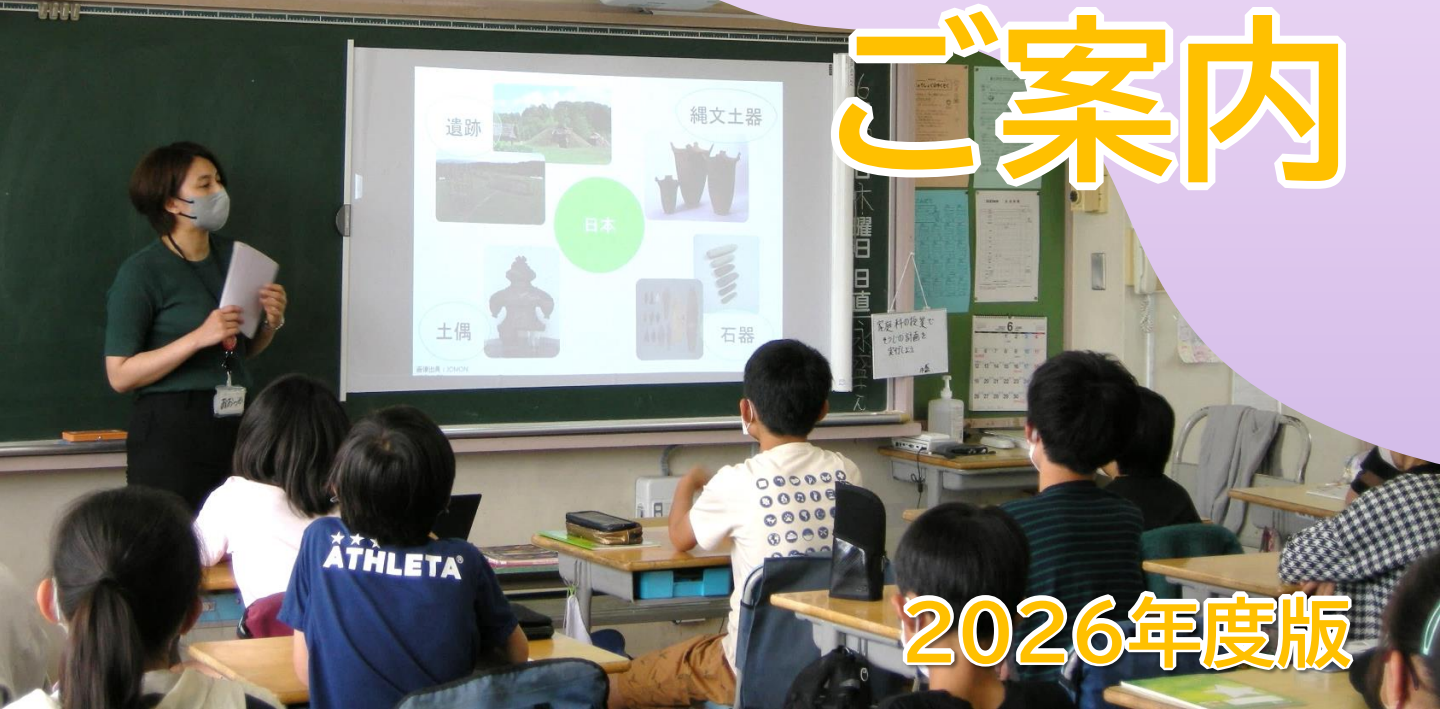


出張歴史授業の ご案内



2026年度版

目次

1	出張歴史授業	1
2	展示解説	9
3	現地解説	11
4	資料貸出	14
5	お申し込み方法	15
6	町田の歴史について	16

〈お問い合わせ先〉

町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課 歴史資源担当
市役所10階 窓口番号 1004(窓口対応:平日午前8時30分~午後5時)
TEL:042-724-2554 FAX:050-3161-9866
メールアドレス:syougaig010_02@city.machida.tokyo.jp

1 出張歴史授業

町田市教育委員会生涯学習総務課の学芸員が地域の歴史資料を活用して、各小・中学校で歴史授業を行います。

コースは例であり、個別の希望に応じた授業も実施可能ですので、お気軽にご相談ください。

※費用はかかりません。

No	授業名	おすすめ学年
(1)	昔の地図からまちの歴史を知る	小学校中高学年 中学校全学年
(2)	昔の道具を使ってみよう	小学校3年生 中学校全学年
(3)	町田と養蚕について	小学校3年生
(4)	町田市のうつりかわり	小学校3年生 中学校全学年
(5)	縄文時代を知る	小学校6年生 中学校全学年
(6)	自由民権運動を知る	小学校6年生 中学校全学年
(7)	町田の歴史	中学校全学年

(1) 昔の地図からまちの歴史を知る

江戸時代から昭和初めごろの地図や航空写真を見て、自分たちの住む地域の歴史について学びます。

※地域により地図の残り方が異なるため、授業内容が変わります。

授業例
(45分)

準備	会場準備（授業開始約10分前）
授業	①町田市や住んでいるまちについて(10分) 町田市や住んでいる場所の今の地理を知る ②地図を見る(30分) 昔の地図を見ながら、昔のまちの特徴を見つける ③まとめ(5分) 授業のふりかえり、質疑応答
片付け	会場片付け



野津田村絵図

このような昔の地図を使って
地域について学びます。

(2) 昔の道具を使ってみよう

明治時代から昭和時代ごろの道具を実際に手に取り、昔の生活でどのように使われていたかをグループワークで学びます。

※体験学習では、生涯学習総務課所蔵の道具を使用します。

校内にある昔の道具を使用することも可能です。

授業例
(45分)

準備	会場準備（授業開始約30分前）
授業	①昔の道具について(15分) 道具の名前や使い方について説明 ②昔の道具の観察(20分) 道具をグループで観察 ③まとめ(10分) 授業のふりかえり、質疑応答
片付け	会場片付け



昔の道具を触って、動かして、昔のくらしでどのように使われていたか学びます。

(3) 町田と養蚕について

授業前半で地図や写真などから養蚕について解説し、後半は昔の養蚕で使われていた道具で糸取り体験をおこないます。

※マユとマユを煮るコンロ等は各学校でご用意ください。そのほかの糸取り体験道具は生涯学習総務課の道具を使用します。校内にある道具を使用することも可能です。

授業例
(45分)

準備	会場準備（授業開始約60分前）
授業	<p>①町田と養蚕について(15分) 昔の町田の地図や写真を使って、町田とカイコ・養蚕の関係を説明</p> <p>②道具の説明(5分) カイコマユから糸ができるまでの道具について説明</p> <p>③糸取り体験(20分) 糸取りの道具「ざぐり」を使って、カイコマユから糸取り体験</p> <p>④まとめ(5分) 授業のふりかえり、質疑応答</p>
片付け	会場片付け

町田の養蚕について解説した子ども向け動画もあります。
詳しくは17ページをご覧ください。



(4) 町田市のうつりかわり

町田市が市制施行後、現在までどのように発展してきたのか、に昭和50年代ころまでの歩みについて学びます。

授業例
(45分)

準備	会場準備（授業開始約10分前）
授業	<p>①人口のうつりかわり、人口急増のきっかけ(15分) 現在までの人口増加を確認し、急増した理由について航空写真などを使いながら説明</p> <p>②生活のうつりかわり(15分) 電気・ガス・水道・道具などから生活の変化を説明</p> <p>③鉄道・駅とまちづくり(10分) 市域を通る鉄道と駅を確認し、町田駅周辺の発展を説明</p> <p>④まとめ(5分) 授業のふりかえり、質疑応答</p>
片付け	会場片付け

(5) 縄文時代を知る

町田市内で実際に発見された土器・石器を手に取り、町田の歴史の特徴である縄文時代について学びます。

授業例
(45分)

準備	会場準備（授業開始約30分前）
授業	<p>①町田の縄文時代について(10分) 授業の復習や町田の縄文時代の概要を説明</p> <p>②土器、石器をさわってみよう(5分) 本物の土器・石器をグループで比較・観察する</p> <p>③縄文人の暮らしを考えてみよう(25分) 縄文人の暮らしに関する問題にグループで回答する</p> <p>④まとめ(5分) 授業のふりかえり、質疑応答</p>
片付け	会場片付け



まちだ縄文キャラクター
「まっくう」



町田の縄文時代について解説した子ども向け動画もあります。詳しくは17ページをご覧ください。

(6) 自由民権運動を知る

明治時代の町田には自由民権運動に精力的に加わった人びとがたくさんいました。自由民権運動と町田のかかわりについて学びます。

授業例
(45分)

準備	会場準備（授業開始約10分前）
授業	①自由民権運動について(15分) 自由民権運動の概要についての説明 ②町田の自由民権運動について(25分) 町田と自由民権運動のかかわりについて説明 ③まとめ(5分) 授業のまとめ、質疑応答
片付け	会場片付け



自由の盃(複製)

自由民権資料館が所蔵している資料
を活用し、授業を進めます。

(7) 町田の歴史

旧石器時代から昭和時代まで、町田の長い歴史にどんな特徴があるのかについて学びます。

授業例
(100分)

準備	会場準備（授業開始約10分前）
授業	<p>①旧石器時代～鎌倉時代の町田について(35分) 各時代の町田の様子や特徴を説明</p> <p>②土器・石器を触ってみよう(15分) 本物の土器・石器を触る</p> <p>③室町時代～昭和時代の町田について(40分) 各時代の町田の様子や特徴を説明</p> <p>④まとめ(10分) 授業のふりかえり、質疑応答</p>
片付け	会場片付け



クイズを出題したり、体験学習をまじえながら
楽しく授業を進めます。

2 展示解説

町田市教育委員会生涯学習総務課の学芸員が各施設で展示解説を行います。

個別の希望に応じた内容も実施可能ですので、お気軽にご相談ください。

※見学料・費用はかかりません。



町田市立自由民権資料館

解説時間 約60分

自由民権運動に関する「自由民権運動と町田」、町田の歴史を紹介する「町田の歴史—時代でたどる人びとのくらし—」の2つの常設展を見学できます。

※企画展開催時期は、一部展示内容が異なります。

- ・ 所在地 野津田町897
- ・ 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始



[リンクはこちら](#)



町田市考古資料室

解説時間 約30分

「縄文のまちだ」をテーマに、町田市内で発見された代表的な土器や石器等を展示しています。

※閉室日でも見学解説対応いたします。ご相談ください。



- 所在地 下小山田町4016
- 開室日 第2・4土日、祝日 ※7・8月は毎土日、祝日



[リンクはこちら](#)

三輪の森ビジターセンター内 郷土資料展示室

解説時間 約15分

町田市内で使用されていた消防ポンプ車、三輪地域で使用されていた水車や木挽の道具を展示しています。



- 所在地 三輪町740
- 休室日 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始



[リンクはこちら](#)

3 現地解説

町田市教育委員会生涯学習総務課の学芸員が市内の遺跡や古民家で解説を行います。

個別の希望に応じた内容も実施可能ですので、お気軽にご相談ください。

※見学料・費用はかかりません。



No.	遺跡名・古民家名	所在地
(1)	田端環状積石遺構	小山町3112-2
(2)	小山田1号遺跡	小山田桜台二丁目 16-3
(3)	村野常右衛門生家	小野路町1256-1 (野津田公園内)
(4)	旧永井家住宅・旧荻野家住宅	野津田町3270 (薬師池公園内)
(5)	本町田遺跡	本町田3455-36
(6)	高ヶ坂石器時代遺跡	高ヶ坂二丁目

(1) 田端環状積石遺構



縄文時代の環状積石遺構(ストーンサークル)が発見された遺跡です。実物は保存のため埋め戻しており、その上に復元された遺構を見学できます。

・解説時間 約30分

(2) 小山田1号遺跡



室町時代の武士の屋敷跡が発見された遺跡です。発掘調査の状態です。保存、整備されており、発掘調査時の臨場感が再現されています。

・解説時間 約20分

(3) 村野常右衛門生家



町田を代表する自由民権運動家、村野常右衛門の生家です。政治家として活躍していた大正時代の姿に復原されています。

・解説時間 約30分

(4) 旧永井家住宅・旧荻野家住宅



薬師池公園内には国指定重要文化財の「旧永井家住宅」と東京都指定有形文化財の「旧荻野家住宅」が移築されています。薬師池は、江戸時代初め以降用水として使われていた溜め池で、里山の景観が残っている地域として東京都指定名勝になっています。

・解説時間 約60分

(5) 本町田遺跡



縄文時代の住居跡4軒と弥生時代の住居跡7軒が発見された遺跡です。縄文時代・弥生時代の竪穴住居各1軒が復元され、内部も見学できます。

園内のガイダンスルームには、縄文時代と弥生時代の生活の様子について紹介する展示があります。

・解説時間 約30分

(6) 高ヶ坂石器時代遺跡 (牢場遺跡・稻荷山遺跡・八幡平遺跡)



縄文時代の集落跡が発見された遺跡で、1926年に敷石住居跡の発見第1号として国史跡に指定されました。3地点に分かれており、八幡平遺跡は敷石住居跡の復元、牢場遺跡は敷石住居跡、稻荷山遺跡は配石遺構の復元が見学できます。

・解説時間 各約20分

4 資料貸出

学校の教育活動を支援するため、昔の道具の貸出を行います。ご希望の資料や、使用期間等をご相談ください。なお、利用が重なった際ご希望に添えない場合もございます。



・利用対象

市内学校関係者

※個人への貸出はおこなっていません。

・貸出期間

原則2週間以内(移送期間を含む)

・貸出費用

無料

貸出・返却は市庁舎にて行います。また、貸出時に物品の使用方法等について説明いたします。

貸出資料

洗濯桶 ・ 洗濯板 ・ 野良着 ・ 糸車 ・ 背負いカゴ ・ 消防頭巾
徳利 ・ 羽釜 ・ 液体用杓 ・ 手鐘 ・ アルマイト製弁当箱 ・ 棹秤

5 お申し込み方法

授業実施希望日の1ヶ月前までに、パソコンまたはスマートフォンからオンラインにてお申込みください(Grafferスマート申請)。申請いただいた内容をもとに、担当者から日程等の連絡をさせていただきます。

右の二次元コードまたは下記のリンクの申請フォームからお申し込みください。

[リンクはこちら](#)



【町田市HPの掲載場所】

トップページ > 文化・スポーツ > 文化振興情報 > 町田市の歴史・文化財 > 出張授業のご案内(小・中学校向け)



スマホ・PCから申請



担当者から連絡後、打ち合わせ

6 町田の歴史について

町田の歴史の特徴

町田には旧石器時代(約3万年前)から人びとが暮らしていたことがわかっています。その長い歴史の中でも特徴的な時代や出来事が3つあります。

縄文時代



町田の山や川の多い地形は、縄文時代の人びとにとってとても暮らしやすい環境でした。そのため、市内で発見された遺跡のうち8割が縄文時代の遺跡で、縄文土器や土偶等もたくさん発見されています。

自由民権運動



明治10年代から20年代には国会開設・憲法制定を目指し、人びとの自由や権利を求めた自由民権運動が盛り上がりました。町田市域は、熱心な自由民権運動家を多く輩出しました。

養蚕



幕末から明治時代以降、全国的に養蚕業が発展しました。生糸の生産地である八王子と輸出する横浜を結ぶ「絹の道」の中間に位置した町田市域でも、養蚕業が盛んに行われました。

まちだ縄文キャラクター まっくう

田端東遺跡(小山町)で発見された縄文時代の「中空土偶頭部」(町田市指定有形文化財)をモデルに生まれたキャラクターです。「まちだ」で発見された「ちゅうくうどぐう」なので、「まっくう」と名付けられました。

モデルになった「中空土偶頭部」は、実物を町田市考古資料室、レプリカを町田市立自由民権資料館で見学することができます。町田市内では「まっくう給食」を実施している小学校もあり、小学生から人気のあるキャラクターです。 [リンクはこちら](#)



モデルになった中空土偶頭部

学習動画

出張歴史授業の事前学習や復習にも使える動画を「町田デジタルミュージアム」にて公開しています。出張歴史授業を実施しない場合でも、町田の歴史を紹介する動画として授業等でご活用ください。



[リンクはこちら](#)



「町田と養蚕～おカイコさんのいたくらし～」



「縄文のまちだ～町田の遺跡を見てみよう～」

町田デジタルミュージアム

町田デジタルミュージアムは、インターネットを通じて町田の歴史を紹介するデジタルアーカイブです。旧石器時代から現代に至る時代ごとの説明、年表に加え、2000点以上の画像を掲載し、町田の歴史をわかりやすく紹介しています。画像には臨場感を楽しめる古民家や横穴墓の3Dパノラマビュー、資料を360度から見られる3D高精細画像も含まれています。また、町田の歴史や文化財に関連する動画をご覧いただけます。



[リンクはこちら](#)

